

ゆうゆう通信

発行日：2021年5月3日
住所：上田市住吉 2863-10
電話：23-3482

弱音をはける社会へ。



あなたの弱音が政治の課題

上田市議会議員「石合ゆうた」 市政報告です。

新型コロナウイルス感染症により、日々の暮らしには不安と閉塞感が募ります。

検査体制と医療支援の抜本的拡充、生活者・事業者支援の徹底に政策転換し、感染拡大を封じ込めることを最優先にする時です。新型コロナウイルス対策の切り札として期待されるワクチン接種。上田市では医療従事者等の皆さんに続き、5月半ばから65歳以上の高齢者の方々の接種が始まる予定です。

市民の皆様には積極的な接種をお願いいたします。

一日も早い収束と平穏な生活が取り戻せることを心より願っております。

多難な時期の副市長交代人事 に反対しました

上田市議会3月定例会最終日に副市長の選任に関する人事案が出ました。

副市長の井上さんが一身上の都合で辞職され、新しい副市長には上田市政策研究センター長で元県職員の吉澤さんを就けたいというものです。

私はこの人事案には**【反対】**しました。

①ワクチン摂取対応、参議院補欠選挙事務対応、今後の財政の厳しさ、多くの部長がこの3月に退職するなどこれから大変な状況を迎えることが見込まれる今の時期に副市長を変えるべきではない。

②議会も平成30年4月の臨時会(私の初当選直後)に副市長人事に同意している。副市長の任期は4年。同意した議会の責任もある。なお、井上さんには不祥事は一切ない。

③上田市政策研究センターは市長直轄の政策シンクタンクとして設置されたが、センター長の吉澤さんを副市長にして、今後の政策研究センターの方向性が見えない。

これらのことは質疑で複数の議員から指摘がありました。明確な答弁はありません。

結果は**賛成多数**で**同意**となりました。

市民に説明がつかない案件に賛成するべきではないと考えました。

大変な時期に市政を担われた井上副市長のご苦労に感謝するとともに、吉澤新副市長には難しい時期の重要ポジションを務められることに敬意を表しながらしっかりとチェックしていきたいと思います。

ワクチン接種について



感染すると重症化しやすく死亡のリスクの高い高齢者から優先接種が行われます。集団接種と個別接種、

そして施設入居者・障がい者施設・在宅療養者の方を対象とした訪問接種が行われます。

現時点での予定ですので、変更がある可能性もあります。最新の情報については、お気軽にお問い合わせください。

接種会場

- (1) 集団接種会場
地域(中学校区)ごとに設置保健センター、公民館等の公共施設等11施設。
- (2) 個別接種会場
市内の病院、医院等の医療機関55施設

接種スケジュール

- (1) 接種券の発送
市対象者数・約49,000人(令和3年度中に65歳になる方を含む)
4月20日(火)より、令和3年度中に85歳以上に達する年齢の方から順次発送。

接種開始日までには、市内に住民票がある65歳以上のすべての方に届くよう進めます。

送付物



- ① 接種券…接種券2回分、予診のみ券2回分、接種済証が一体の用紙
- ② 予診票2枚…事前にご自宅でご記入をお願いいたします。2回目接種分も同封
- ③ 事業案内のチラシ…厚生労働省統一様式
- ④ 接種会場一覧、予約方法等の案内…市作成、WEB予約サイトご利用ガイド付き
- ⑤ ファイザー社製ワクチンの説明書…厚生労働省原稿作成

(2) 接種予約の受付

予約開始…4月21日(水)午前9時から受付を開始します。

予約方法…電話(市ワクチン接種コールセンターへ)若しくはインターネット予約システムにて、希望の会場・日時を決め、各々で予約を行います。

① 市コールセンター電話番号

9時～17時

0570・079・567

② インターネット予約

24時間対応

*上田市ホームページでキーワード検索で

「コロナ接種予約」

とお願いいたします。

※予約枠に対し、希望者が多い場所・日時には、予約が取れない可能性もあります。

(3) 接種の開始及び期間

個別接種…5月10日(月)から、順次開始します。

集団接種…5月15日(土)、16日(日)より一部集団接種会場から順次接種を開始します。

3月議会報告

上田市議会3月定例会は2月19日から3月22日まで開会し、条例案13件、予算案23件、事件決議案4件、専決処分1件、人事案件6件、合計47件、いずれも可決、同意、適任、承認の決定をして閉会しました。3月は新年度の当初予算を審査する大変重要な議会です。

コロナ禍による厳しい財政状況の下、令和3年度当初予算が組み立てられました。今回は初めて一般会計当初予算について、専門的・多角的に審査する目的で「一般会計予算特別委員会」が設置されました。一般会計では693億円の予算を原案通り可決しました。

私は、所属する総務文教委員会で新年度事業などについて質疑しました。

(問) 政策研究センター運営事業費では、政策アドバイザー以外にも特定分野のアドバイザーを活用することから、講師等謝礼として19万円余を計上したとのことだが、アドバイザーを活用する分野と、アドバイザーの人数はどうか。

(答) 交通、農業、商工業の3分野で活用予定であり、分野ごとに1人のアドバイザーを活用することから、アドバイザーは最大で3人となる。

(問) 人権教育推進事業費では、新たに丸子中学校区を指定地域とし、人権教育総合推進地域事業を実施するための経費を計上したとのことだが、令和3年度に取り組み内容はどうか。

(答) 学校や地域、家庭で行ってきた人権同和教育の中から事業を選び、新たに組織する総合推進会議において、事業内容を検討していく。具体的には、同和教育に関する学校の研究授業や地域の公民館が行う教室は、総合推進会議で内容の検討を行っていく。

また、総務文教委員会では議員任期後期の重点課題として「収納対策強化」について調査を行ってきました。県内の多くの市で制定される「債権管理条例」を制定する必要性が認められました。上田市でも債権管理条例制定に向け準備が進められていることから下記内容を委員会の意見として市に提出しました。

1 債権管理条例を制定する際は、次の事項に留意すること。

- (1) 債権放棄の適否を公正に判断するための基準を検討すること。
- (2) 生活困窮状態にある債務者への取り扱いに配慮すること。

2 債権管理条例の趣旨や目的を推進するために、次の事項を行うこと。

- (1) 収納対策に関する組織体制や人員体制の見直しを行うこと。
- (2) 関係課間での情報共有を迅速に行うこと。

一般質問

青木村で3月に学校給食に自然栽培の小麦を用いたパンが提供される動きがあることを聞き、2月25日に関心を寄せる市民の皆さんと学習会を開催しました。

講師は自然栽培小麦の生産に関わる宮入隆通さん。現職の青木村議でもありません。



青木村の自然栽培小麦。パンの給食への提供は農家に加え、地

元のパン屋さんも関わっていること、青木村は自校給食で食品添加物を極力使わず地産地消をめざすことを意識されていることなど前提の点に加え、県の補助を活用されたことなど取り組みを詳しくお聴きできました。

有機食材の給食への導入には「規格が一律ではなく」、「生産数の確保が困難」、また「価格も高額」など、幾つもの課題とされるもの

があります。

これらについて①作り手がない↓有機農業者団体と協力、②発注量の確保が大変↓最小単位、品目を抑えて小さく始める、③価格が高い↓お金がまわる仕組みで助成金頼みにならないよう、仕組みづくりと足りない部分の支援を求めることを指摘いただきました。

(問) 県内や全国で学校給食に有機食材を導入する動きがあるが、受けとめはどうか。

(答) 教育長 有機食材は、化学物質の影響が少なく、安心感や魅力がある。児童生徒には生産者の顔が見え、郷土の農業についての関心を深めることも期待できる。他自治体の導入状況を研究し、給食費とのバランスやメリット、デメリットを整理し、農林部とも連携を取りながら検討していきたい。

(問) 有機食材の学校給食への導入は多くの効果があると考えるが市長の見解はどうか。

(答) 市長 現在有機農産物の生産者が少ないことや市内栽培農産物の内、有機農産物の割合が極めて低いことから、現時点では難しいが、将来的に活用するためには、有機農業を志す農業者や生産団体を確保、育成し、有機農産物の生産体制を強化する必要もある。食育の観点からも重要なことと認識している。

活動報告



**上田市手話言語
コミュニケーション
シヨン条例の制
定を受け、市議会
だよりに「手話を
学ぼうコーナー」
を設けました。私
より委員会では提案
してまいりました。**

**「いただきます みそをつくることもた
ち」の上映会に参加するため長和町へ行つて
きました。同僚議員の齊藤達也市議にお誘い
いただいたもので、長和町議の佐藤恵一さんの呼
びかけられた自主上映会です。**

福岡県高取保育園の自分たちの飲むみそ汁の
みそを作る子どもたちの姿や食の変化でアレル
ギーやアトピーが改善する子どもたちの姿など
興味深い取り組みです。神奈川県麦っ子畑保育
園も和食を給食に導入しています。興味深い取
り組みです。



りながらタブレットは不慣れなので、触れて慣
れていきたいです。

上田市役所新庁舎の上田市役所新庁舎の竣 工式がありました。



木材がふんだんに
使われた暖かな庁舎
です。

議場の席にも座つ
てみました。サステ
ナブルデザインと
なっており、環境と
調和した庁舎として市民に親しまれる市役所に
なってもらいたいです。バリアフリーチェック
なども行っていきます。

**参議院補欠選挙では立憲
民主党公認、市民と野党の
統一候補・羽田次郎さんを
応援しました。立憲主義と
民主主義を守り、国民目線
での政治を進めることを期
待しています。**



**タブレットが上田
市議会に導入されま
した。ペーパーレス
の推進、スムーズな
情報伝達、市民の皆
さんへの説明など有
効に活用されること
が期待されます。**

私もタブレット導入
研究委員の一人であ
る。

石合ゆづた プロフィール



- ◆平成元年生まれ
- ◆神科小、五中出身
- ◆長野俊英高等学校出身
- ◆立正大学文学部史学
- ◆生活困窮者支援
- ◆脱原発などの市民運動に関わる
- ◆デイケア施設で働きホームヘルパー2級取得
- ◆民間企業（京都）に就職
- ◆ふるさとの未来を思い退職

（議会の活動）

- ◆上田市議会総務文教委員
- ◆広報広聴委員
- ◆議会タブレット導入研究委員
- ◆上田地域広域連合議会議員
- ◆青木村及び上田市共有財産組合議会議員

（地域の活動）

- ◆非核・平和・憲法を護る上小の会副会長
- ◆上田地球を楽しむ会事務局次長
- ◆サンタ・プロジェクト・うえだ事務局長
- ◆泉の会副会長
- ◆上田市消防団員

（議員連盟）

- ◆信州オーガニックス議員連盟
- ◆長野県自然保育推進議員連盟
- ◆LGBT議員連盟
- ◆上田市議会観光産業振興議員連盟
- ◆上田市議会農業政策議員連盟